



新春のお慶びを 申し上げます

新春を迎え コロナとインフルエンザがまだ影を落としている中です ご家族様のご健康と ご活躍をお祈りいたします

この一文を 年賀葉書に代え私の年賀状として 配信先の皆様にお届けいたします

この「色彩教材研究会通信」を編集し 毎週木曜日に研究会の人達を中心に メール配信して 370号になりました 周りに配信ご希望の方がいらっしゃいましたら 送りますので お知らせください

八十八歳のお正月を迎えました 私の近況は 足の麻痺が更に進行して 歩行と立居振舞が不自由となり 近くの公園でのラジオ体操と 杖をついての低速散歩が日課です

「セゾンエクスプレス」に日本伝統色の連載を始めて この一月号で一年五ヶ月が経ちました 呆け進行の防止に役立っています

お身体を大切にお過ごしくださると共に 学会活動にもご協力をお願いいたします

令和六年 新春

永田泰弘

●講座案内・ジェンダーと色彩

日本色彩学会の教育普及委員会主催の「あたらしい色彩」の講座として学会員に必須の知識の「ジェンダーと色彩」が開催されます。ご参加をお願いいたします。

◆日時：2024年1月27日（土）

13:30-15:30 オンライン開催（Zoom）

◆登壇者：名取 和幸 氏（一般財団法人日本色彩研究所常務理事）

山田 雅子 氏（埼玉女子短期大学 教授）

筒井 亜湖 氏（多摩美術大学・武蔵野美術大学・東京工芸大学非常勤講師）

國本 学史 氏（慶應義塾大学・埼玉大学非常勤講師 / 黄岡師範学院・西安美術学院特聘教授）

司会進行：吉澤 陽介 氏（木更津高等専門学校准教授）

◆受講料：日本色彩学会会員：2,000円

日本色彩学会学生会員：1,000円

一般非会員：3,500円

学生非会員：2,000円

◆申込締切：2024年1月16日（火）

◆申込 URL：

<https://forms.gle/DFQEAath65VwqkdD9>

学会ホームページからの申込も可能です。

（学会ホームページから引用・永田泰弘）

●大辞泉ひろいよみ 49一き

黄朽葉：（続き）襲の色目の名。表は黄丹、裏は黄。秋に用いる。

黄桜：桜の一品種。花は八重で、濃黄色または赤みを帯びる。

黄血：きじ。黄色い体液を出すところから、釣りの餌に用いるシマミミズ。

気色：きしよく。心の状態が外面にあらわれたようす。顔色。表情。きそく。

基色：きしよく。油絵などでカンバスに地塗りとして用いる色。白または黄色などを用いる。

寄食：きしよく。他人の家に身を寄せ世話を受けること。居候。

旗色：きしよく。旗の色はその軍隊を示すところから立場。また、態度。戦いの形勢。はたいろ。

黄白地：きしらじ。白地に黄色の紋を染めた革で威した鎧。また、黄地に白の紋を染めた革で威した鎧。黄白地威。

黄信号：注意をうながす黄色い交通信号。憂慮すべき事柄が起こりそうであること。

黄水晶：きずいしょう。淡黄色で透明な水晶。黄色は結晶中に不純物として鉄を含むことによる。宝石の代用や印材に利用。

*大辞泉：小学館発行国語辞典

（永田泰弘）